

△ 便利 近頃ザワつく

90歳の知人が時々忘れ物をするようになり、施設に入れと嫁がいびると泣いている。夫の死後、相続の時に自宅は自分のものにしておくように、でないと追い出されるとアドバイスをくれた。幸いなことに、我が家は嫁たちの方が出ていき、おらが天下で悠々自適に知人たちのたまり場にもなっている。100歳まで18年。このまま元気でいられるか。

(名華女)

60歳を超えたが、高齢者という意識は微塵もない。コロナ禍では、60歳以上は高齢者という言葉で一括りだ。罹患後に重症化する可能性のある弱者と見做されるらしいが、心身ともに元気な人は保護され過ぎると軟弱になってしまう。そのボーダーラインがどこなんだろう。

(しばり)

「終活」という文字が私の心をザワつかせる。ちよいと待て！慌てるな！「終活」の前にもっと「老活」をするべきだ。しっかりと「老活」をすれば自然と「終活」につながるはず。ゆつくり丁寧に「老活」しましょう。

(すみちゃん)

「コロナの影響で配偶者の帰宅が早い。夕方「何かやっておく」とある？」と連絡が

△ハモン博士のまとめ

「ザワつく」というのは心が落ち着かない状態のことじゃ。不安に思うことを抱えていても、どちらかといえば軽い感じで、さほど深刻なニュアンスは含んでおらんことが多いんじゃないかの。「ザワつく」ということは、気にかかる、気に留めることがあるということじゃ。日々心穏やかな暮らしが一番じゃが、時には「ザワつく」ことも生活のメリハリじゃと思うと「ザワつく」ことが楽しくならんかの。(笑)



問合せ

大口町NPO登録団体ハモン
☎95-1691

入る。あれ、指示待ちということでは、いつまでたってもお手伝いのつもり？もっと主体的にやって欲しい。…が、平日の夕飯担当は私という長年の習慣は簡単に変われないし、冷蔵庫の食材を勝手に使われて今週の予定が狂うのは困る。うーん、さわさわする。

(チャーミー)

娘が「保育園でもらったの」と可愛らしいお手紙を見せてくれた。覚えてたのひらがなを一生懸命書いたであろう「だいすきの文字を微笑ましく見ながら「誰にももらったの？」と聞くと、●●くん…ああん？この胸のザワつきが抑えられない。(俺)



No.57



Be Ambitious

vol.318

町内にお住まいの
20代の皆さんがリレーで登場！

地元のつながりを大切に

山下 佑太さん(余野) H3・6月生



普段の様子などコミュニケーションを大事にしています。
地元へ転職

今年に入って、町内の製造メーカーに転職。前職と同じ営業です。もともと人と話すのは好きですが、初対面の人でも垣根なく話せるのは、サッカーのコーチの経験が役立っているのだと思います。これから、商品や図面の知識など覚えることがいっぱいです。

休日は中学時代の同級生とフットサルや、バーベキューをすることも。年末には一泊旅行が恒例になっています。日間賀島や鳥羽、北陸などへ行きました。気心した仲間と、美味しい物を食べ、湯につかり、ゆつくり飲み語るのは最高です。

小さい子どもが大好きなので、毎週、子どもたちと練習できることを、僕自身がすごく楽しんでます。子どもたちには、まずはサッカーを好きになってもらいたくて、何より楽しく心をかけています。遊びの延長で、徐々にボールに慣れていくてくれたら嬉しいです。

保護者の方たちにも、自分から声をかけ、その日の報告や



▲毎週土日、上小口グラウンドで練習しています。団員募集中！
見学・体験はお気軽に！